

1 授業参観 (9:35～9:55)

2 学校運営協議会 (9:55～11:00)

(1) 校長あいさつ及び委員の委嘱

(2) 会長、副会長の選出 (会長:加藤 広寿 自治会長 副会長:安藤 理加 校長)

会長よりあいさつ

(3) 令和5年度の学校教育の方針と運営・学校評価計画について : 校長より説明

(4) 具体的な活動について各部会にて検討・全体で報告

<確かな学力部会>

- ・例年どおりふるさと教育週間の中で、ふるさと教育の充実を図っていく。
- ・漢字検定は、今年度2回実施予定。確かな学力部会の方に試験監督を依頼する。

<豊かな心部会>

- ・小中合同あいさつ運動では、地域の協力を得るためチラシを回覧する。
- ・志授業で、講師としてよい方がいれば、ご紹介していただきたい。

<安全安心部会>

- ・引率ボランティア募集の「すぐーる」を学校運営協議会の方にも送信する。
- ・学校美化活動は、コロナ前のようにだんだんと保護者がみんな参加するようにしていくことに加え、地域の方にもチラシの形で活動を周知する。

(5) 意見交流

- ・子どもが真面目で素直。1年違うだけで、大きな成長がみられる。まだマスク姿が多く、自己判断が難しいかもしれない。
- ・先生と児童のコミュニケーションがよくとれている。優しい、よい子が多い印象。
- ・ふるさと学習の積み重ねにより、次代の地域を担う人材の育成につながる。
- ・児童数が減っていることから、仕事を兼務している人が多い。PTA 役員を減らすなど、今後考えていきたい。特別支援学級の存続をお願いしたい。
- ・1年生では、役割演技をするなど、子どもを集中させるための働き掛けがされていた。高学年は、落ち着いて授業を受けている。
- ・小学校での学びの基礎がしっかりとできている。3年生では、本時のまとめの確認がきちんとされており、5年生では、ペアで話し合う姿がよかった。

(6) 市教委によるご指導

- ・コロナによる活動制限がだんだん緩和されてきた。ICT を活用して、コミュニケーションの力を高めるとともに、地域のコミュニティや、人々との関わり、体験を大切にすることで、豊かな心を育んでいきたい。今後も一層学校と地域が連携を密にし、学校や地域が楽しいと思える活動を推進してほしい。

(7) 校長あいさつ